

ヴォリュームアキュライザーの導入(14)
—SWD-DA20 への適用—

1. 始めに

今回は、第二リスニングルームのシステムにおける SWD-DA20 に適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

今回は、下記システムを使用して、デジタル音源で VRA-7 の効果を確認します。第二リスニングルームの最近の状況は、[第二リスニングルームの整備\(6\)](#)で報告しています。この DAC である城下工業の SWD-DA20 のヴォリュームに VRA-7 を貼ります。なお、しなの音蔵オリジナルプリアンプのヴォリュームへの適用は、[前報\(8\)](#)で報告しています。

SWD-CT10→SWD-DA20→しなの音蔵オリジナルプリアンプ→LUX A3000→
TANNOY Arden

LUX A3000 のヴォリュームは全開とし、音量調整はプリアンプと SWD-DA20 で行います。

SWD-DA20 の後続ステージに、プリアンプとパワーアンプのヴォリュームがありますので、果たして効果が現れるかどうかポイントです。また、SWD-DA20 のヴォリュームはおそらくデジタルヴォリュームですので、効果が認められないのではないかという予想です。





音源は、下記の CD を選定し、城下工業の CD トランスポートと DAC 経由での再生です。

Harmonia mundi HMM925296

ベートーヴェン ピアノと管楽器のための 5 重奏作品 16
アンサンブルディアローギ

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1
フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)
グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

ナクソス・ジャパン KCD-2078

モーツァルト ソナタ第 10 番ハ長調他
稲岡千架

DECCA UCDD9824

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ
アルトゥール・グリュミオー

3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7 の試聴結果

このシステムの特徴は、なんと言ってもスケールが大きく、おおらかに鳴ることです。これに対して VRA-7 の効果がどう出るかですが、これまでのパッシブアテネーターやプリアンプのヴォリュームのような劇的な効果はないものの、幾分かの音の変化が認められました。

即ち、アンサンブルディアローギのピアノフォルテ、ギィのスタンウェイ、稲岡千架のベッヒシュタインの打鍵がクリアになります。

フィリップのチェロやグリュミオーのヴァイオリンの擦弦音も緻密になりますし、チェロやピアノの低音の響きがはっきりしてきますので、スケール感が出ています。管楽器では、アンサンブルディアローギのナチュラルホルンの響きがリアルになります。

4. まとめ

第二リスニングルームのシステムにおける CD 再生において、DAC の SWD-DA20 に適用し、これまでのパッシブアテネーターやプリアンプのヴォリュームのような劇的な効果はないものの、予想とは違い、幾分かの音の変化が認められ、曲の表情が掴みやすくなりました。

以上